

グランシップ 子どもアート体験! 学校プログラム

たくさん子どもたちに本物の芸術を
お届けする、アウトリーチ活動を
実施しています。



ハーモニカ・カルテット 「スヴェング」 ミニコンサート

2024年1月26日(金)
磐田市立豊田東小学校 1~6年生 356名

静岡県文化財団・グランシップでは、国内外のアーティストとともに県内各地へ出向き、コンサートやワークショップを行うアウトリーチ活動に取り組んでいます。今回はフィンランドのハーモニカ・カルテット「スヴェング」が磐田市立豊田東小学校でコンサートを開催しました。

児童のみなさんは手作りのウエルカムボードでスヴェングを歓迎。児童たちの「モイー! (こんにちは)」というフィンランド語の挨拶をきっかけにメンバーが体育館に登場しました。大小様々なハーモニカで奏でられたのは、フィンランドの伝統曲やタンゴに加え、ジブリ作品の主題歌と多彩な楽曲の数々。児童たちは4人の息の合った演奏をしっかりと見とめ演奏に集中していましたが、フィンランドの伝統的なダンス楽曲が演奏されると、自由に踊ったり手拍子でリズムをとったり素直に反応し、全身で音楽を楽しんでいました。言葉のやりとりは無くとも音楽を通して気持ちを通わせ合い、会場に一体感が生まれました。

途中、メンバーが演奏しているハーモニカの紹介も。メンバーのひとり、日本製ハーモニカを愛用していることを知ると、驚きの声がありました。質問コーナーでは、「ハーモニカをいつから始めましたか?」「フィンランド

にはどのような料理がありますか?」と次々に手が挙がりました。このコンサートが、ハーモニカやフィンランドの文化に興味を持つきっかけとなったようです。

演奏後には児童の代表が「綺麗な音色で、聴くと心が落ち着いた。4つのハーモニカの演奏だったが、重層な感じがしてとても素敵と思った。リズムやテンポがどんどん変化して、みんなが踊ってしまうほど楽しかった。キートス! (ありがとう)」とフィンランド語を交えて感謝を伝えました。音楽を通じて互いに心を通わせながら、世界の芸術文化を体感する機会となりました。

これからもグランシップは、県内各地で様々な文化芸術に触れる体験をお届けしていきます。

こどもたちの感情をダイレクトに感じることで感動した。自分もこどもたちから影響を受けた。(出演者)



スヴェングのみなさんがのりのりで演奏していたので、手拍子したり立って踊るほど楽しかった。(児童)

ハーモニカにチャレンジしたいと思った。(児童)



楽器を5つしか使っていないのに、いっぱい楽器があるように感じた。(児童)



音楽は、音を楽しむと書くが、まさにそのもののステージ。こどもたちは音楽を聴いて自然に動き出し、楽しんでいた。(先生)

